

「(仮称) 町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」検討の趣旨等

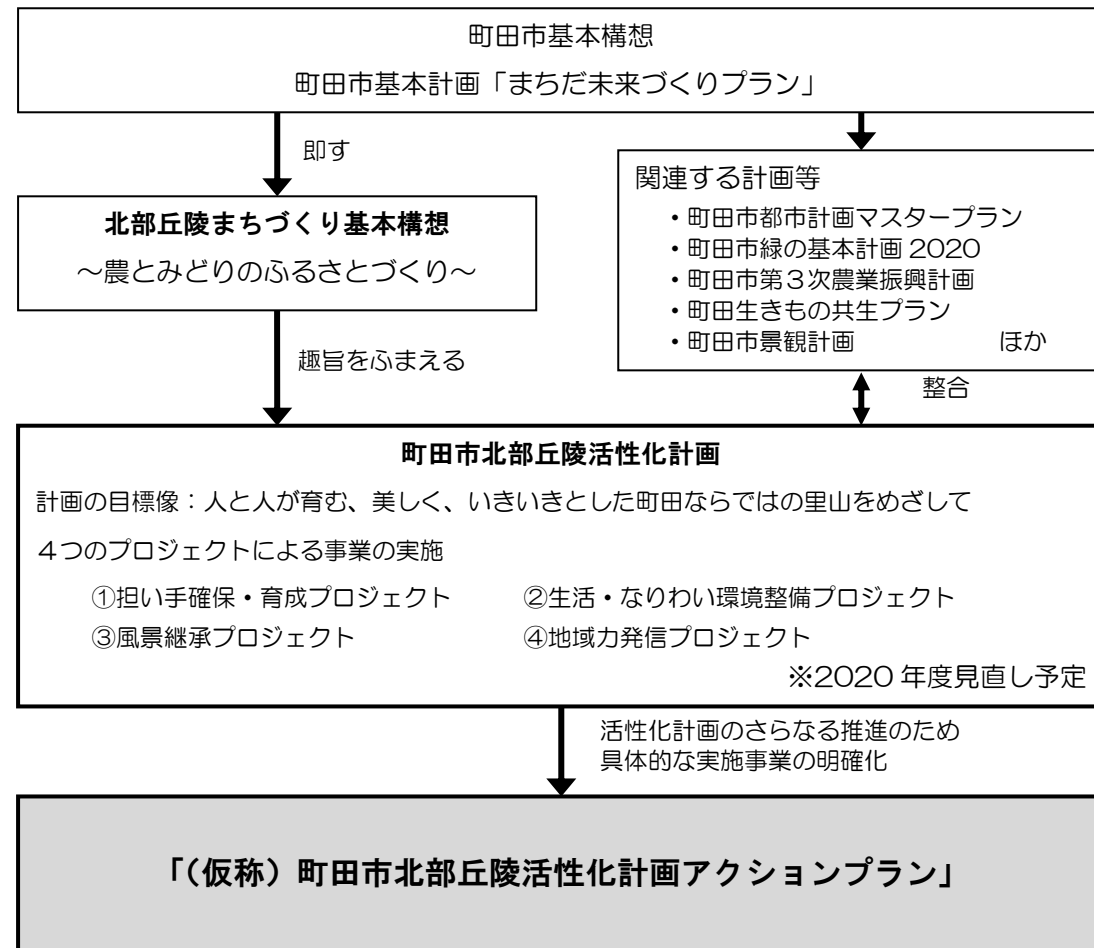
1 「(仮称) 町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」の策定について

2011年3月に「北部丘陵活性化計画」(以下、活性化計画)を策定してから5年を迎え、2016年度に計画期間の中間年を迎えます。この間、計画の実現に向けて各種事業を実施してきました。市有地については、農地利用集積円滑化事業等により市有の中の活用率は5割を超えましたが、市有山林は十分に活用できていません。

そこで活性化計画のさらなる推進のため、良好な里山の景観の保全・創出、市有山林及び農地の活用について、具体的な実施事業を明確にするため、「(仮称) 北部丘陵活性化計画アクションプラン」(以下、アクションプラン)を策定します。

また、北部丘陵では、近年、小田急多摩線の延伸や駅周辺のまちづくり、さらに多摩都市モノレール路線の都市計画決定等、社会状況が大きく変わろうとしています。このような状況の変化に対応するため、新たに策定される新駅周辺のまちづくり整備方針や都市計画マスタープラン等の改定と合わせて、2020年度に活性化計画の見直しを行う予定です。

■アクションプランの位置づけ



2 「(仮称) 町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会」設置について

(1) 検討委員会の構成等

アクションプランの策定にあたり、「(仮称) 北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会」(以下、検討委員会)を設置し、検討を行います。

検討委員会は、上小山田町、下小山田町及び小野路町の町内会や北部丘陵で活動する団体等を中心に構成し、検討会の意見を参考にしながらアクションプランの策定を進めます。

(2) アクションプランの位置づけや盛り込みたい内容のイメージ

■位置づけ：活性化計画をさらに進めていくための行動計画

- ・アクションプランは、北部丘陵の活性化の進展に向けて、市民や活動団体、事業者、市が協働によって実施するための行動計画として策定します。
- ・活性化計画は2020年に見直しを予定しています。そのため、アクションプランには、それまでの4年間に着手及び実施する事業を中心に記載します。
- ・少子高齢化や人口減少社会の急速な進展により、市税収入の根幹である個人住民税が伸び悩み、一方で高齢化による社会保障関係経費が増加するという、構造的な収支不足が町田市においても顕在化しています。限られた財源を真に必要な事業に重点配分するため、事業の優先順位付けを行い、効率的に事業採択を行います。

■盛り込みたい内容のイメージ

- ・現行の活性化計画の内容を踏まえて、実施すべき具体的な事業を明確化。
※中でも、農地のさらなる活用、十分に活用されていない山林に対する新たな取り組みについて検討します。
- ・着実に事業を進めていくため、記載する事業には、優先度、実施予定時期、進捗を把握するための指標を示します。

3 検討委員会の各回の検討内容(案)

日程	主な内容案
第1回 検討委員会 2016年 5月27日	・検討の趣旨(検討の目的、アクションプランのイメージなど) ・活性化計画の進捗状況など ・北部丘陵の活性化にかかる意見交換
第2回 検討委員会 2016年 6月	・北部丘陵活性化の可能性と課題 ・アクションプランに盛り込む内容の検討(案) ※農地のさらなる活用、活用されていない山林の活用方向など、第1回検討委員会での意見を踏まえて検討
第3回 検討委員会 2016年 8月	・アクションプラン(素案)の検討
第4回 検討委員会 2016年 9月	・アクションプラン(案)の検討
第5回 検討委員会 2017年 1月	・市民意見募集の結果 ・アクションプランの修正等

4 全体のスケジュール（予定）

2016 年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討の流れ	アクションプランの検討				アクションプラン案		アクションプラン修正案				アクションプラン策定
検討委員会	第1回検討委員会	第2回検討委員会		第3回検討委員会	第4回検討委員会				第5回検討委員会		
市民意見						市民意見募集			市民意見募集結果公表		
庁内			庁内検討会		庁内検討会		庁内検討会		庁内検討会		

■ 「(仮称) 北部丘陵活性化計画アクションプラン」のイメージ

